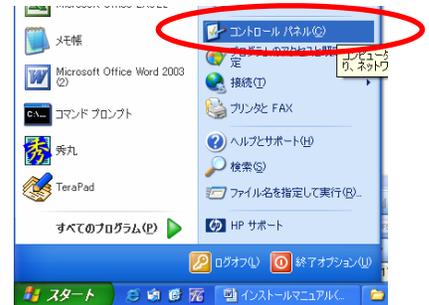


JRE (7.0 Update11) への変更手順

1 旧バージョンのJava Runtime Environmentアンインストール

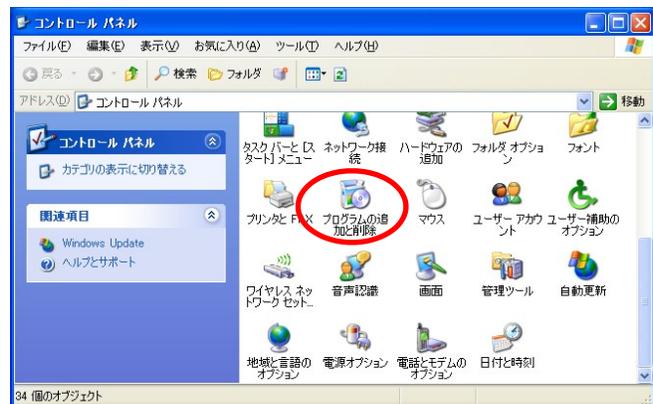
① <コントロールパネルの表示>

[スタート]メニューより、[コントロールパネル]をクリックします。



② <プログラムの追加と削除>

「プログラムの追加と削除」を選択します。



③ <アンインストール>

「プログラムの追加と削除」画面から「Java(TM) Update ○○」を選択し、削除を押します。

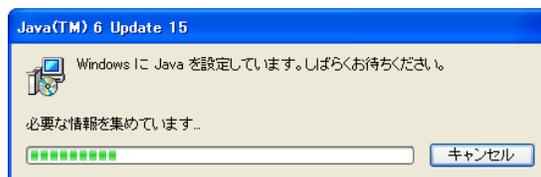
※○に入る数字は、環境により異なります。



- ④ <アンインストールの確認>
「削除の確認」画面が表示されます。
画面の注意事項を十分に確認して、
「はい(Y)」を選択します。



- ⑤ <アンインストールの実行> Java
Runtime Environment の アンイン
ストールが実行されます。

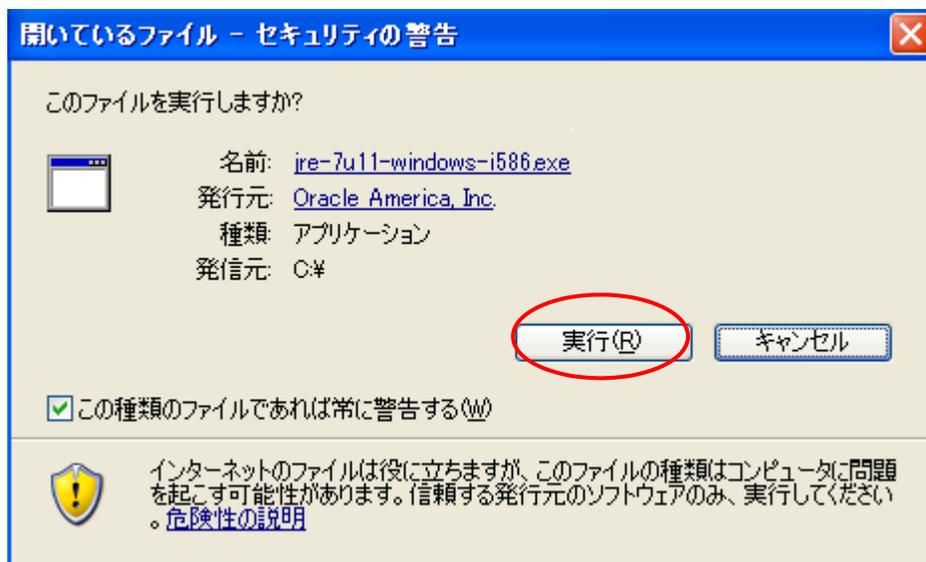


- ⑥ <アンインストールの実行> アンインストールの完了後、
画面が自動的に閉じられます。

アンインストールは完了しました。

2 Java Runtime Environment 7.0 Update11 インストール

- (1) インストールファイルのダウンロード
PR サイトのダウンロード画面よりインストールファイルをダウンロードします。
- (2) インストールの実行 アイコンをダブルクリックし、インストールを実行します。以下の画面が表示されますので、「実行」を押して下さい。



使用許諾契約の画面が表示されますので、「使用許諾契約を表示」選択し、内容確認後、「インストール」を実行します。

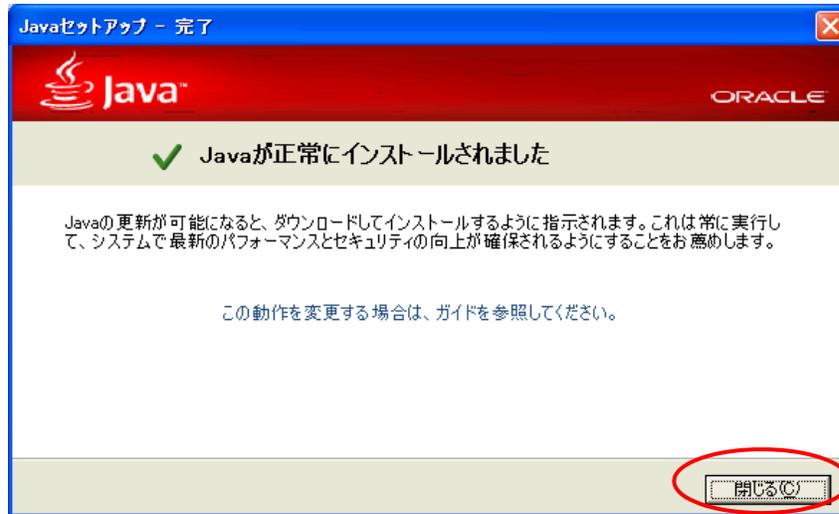


インストール中は以下の画面が表示されます。



(3) Java Runtime Environment 7.0 Update11 インストールの完了と設定

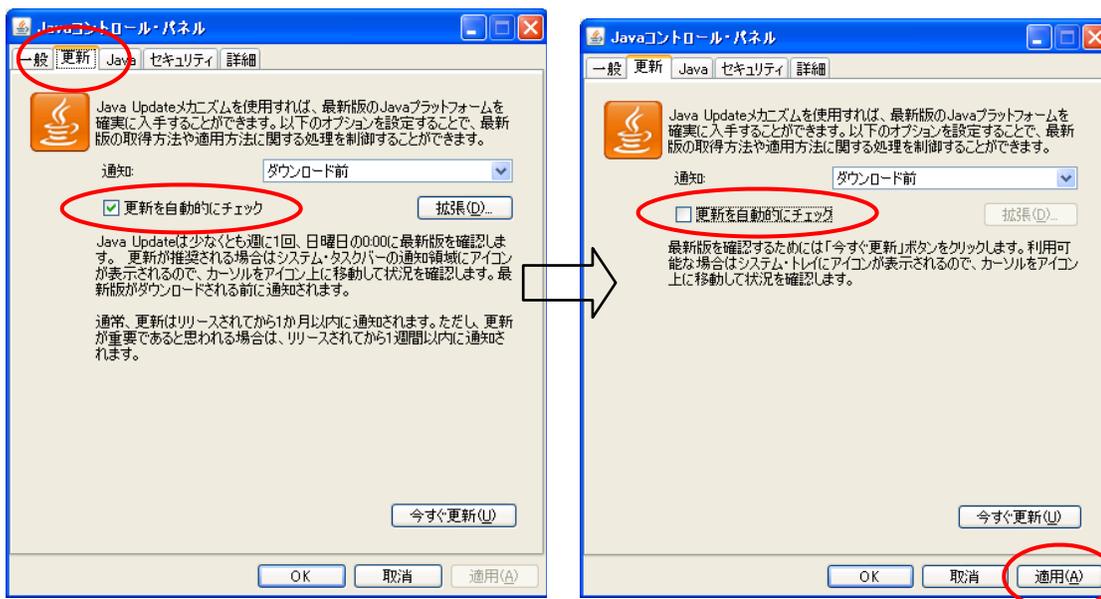
- ① インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、「閉じる」を選択してください。これでインストールは終了です。



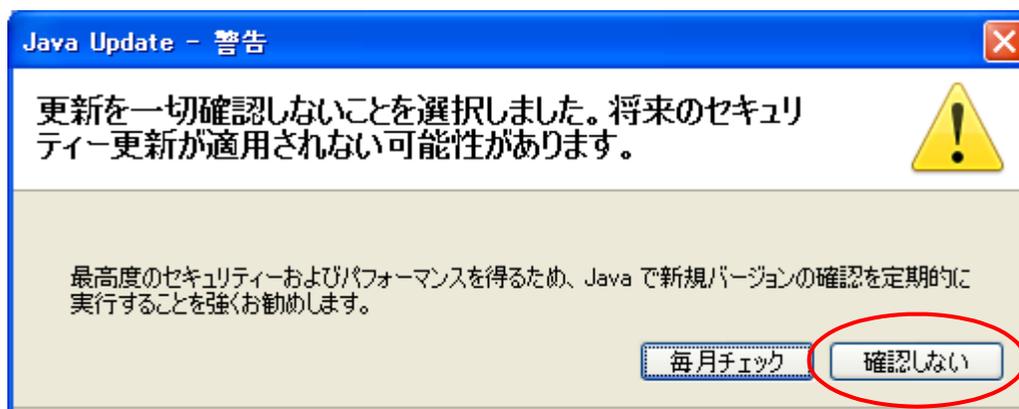
- ② [スタート]メニューより、[設定]-[コントロールパネル] (クラシック表示) を選択し、[Java]をダブルクリックしてください。



- ③ [更新]タブを選択し、「更新を自動的にチェック」のチェックをはずし、「適用」を選択し「OK」で閉じてください。
(※更新タブが出ない場合は、Java 起動時に「更新する」「更新しない」という選択を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は「更新しない」を選択してください。)



以下の画面が出る場合は、「確認しない」を選んで下さい。

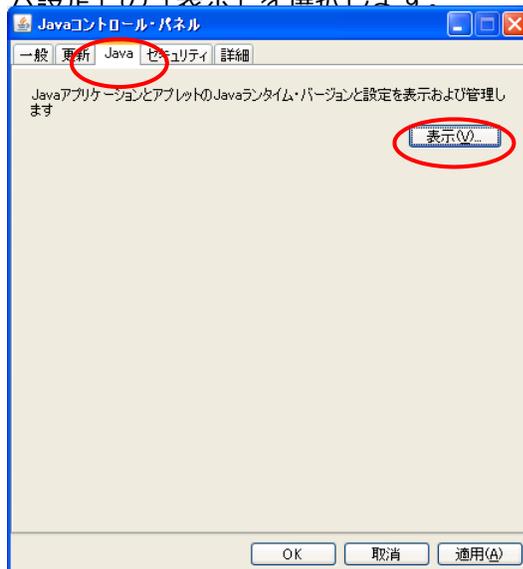


以上でインストールは終了です。

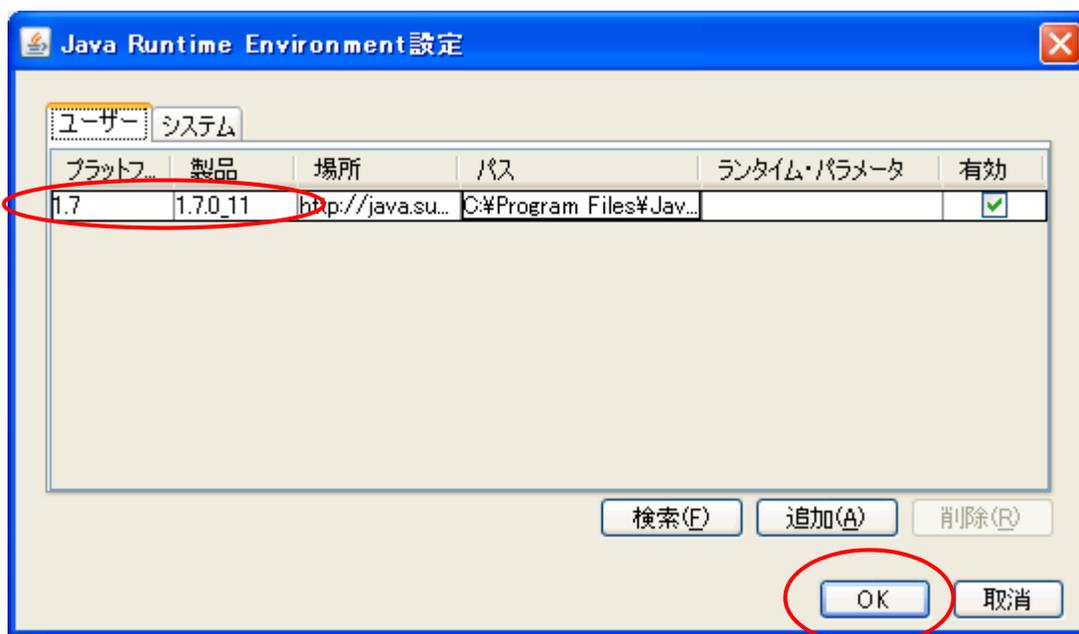
3 Javaのバージョン設定

ここでは、申請データ送信アプリケーションが、インストールした Java Runtime Environment 7.0 Update11 で動作するように設定を行います。

- ① コントロールパネルの [Java] を選択し、設定画面の「Java」を開き「Java アプリケーションのランタイム設定」の「表示」を選択します。



- ② 「プラットフォーム」が「1.7」、「製品のバージョン」が「1.7.0_11」が有効になっていることを確認します。
他に Java 製品が混在する場合は、他の製品からは「有効のチェックをはずして」ください。了解を選択して設定画面を閉じ、Java を終了します。

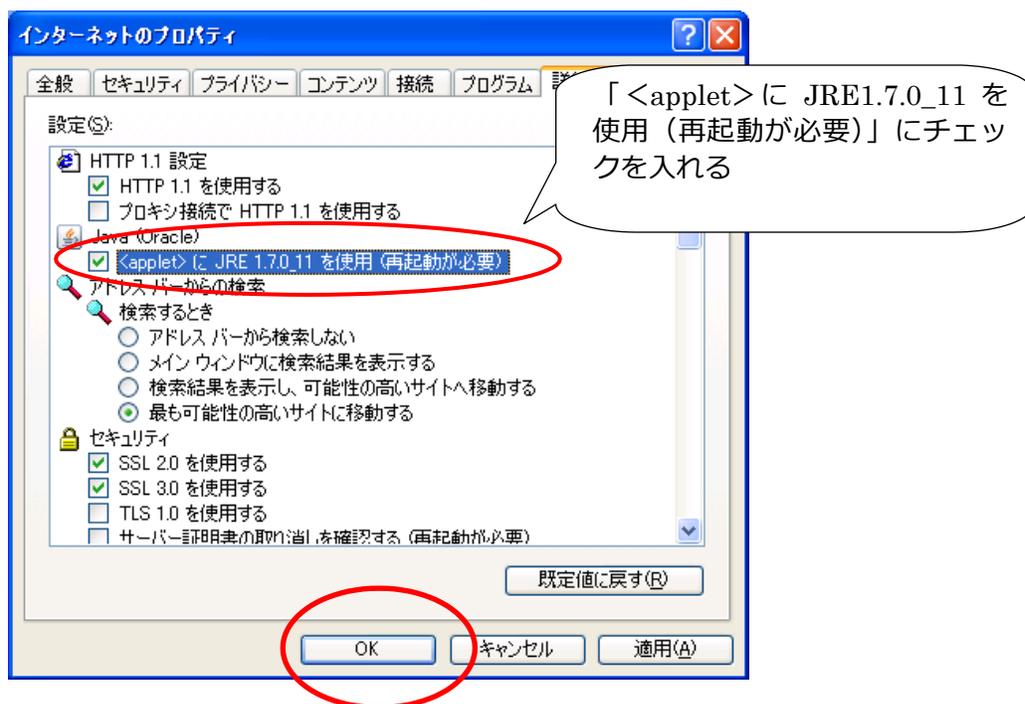


以上で Java の設定は終了です。

4 Internet Explorer 利用時の設定

(1) Java Runtime Environment の設定

詳細設定内項目の JRE1.7.0_11 を使用 (再起動が必要) のチェックボックスにチェックを入れ (インストール直後は必ずチェックが入っています。)、 「OK」 を選択し、インターネットエクスプローラを終了します。



※ 一度インターネットエクスプローラを終了しないと設定は有効になりません。

以上でオンライン申請システムのインストール及び環境設定は終了です。